

三菱自動車、クロスオーバーSUV『アウトランダー』PHEVモデルを大幅改良し、25年春に欧州で発売

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、日本・北米・豪州・ニュージーランドで販売しているクロスオーバーSUV『アウトランダー』のプラグインハイブリッドEVモデル（以下『アウトランダーPHEV』）を大幅改良し、欧州市場には2025年春より20カ国で順次販売を開始。日本では今秋に発売を予定しています。また、PHEVモデルと共にガソリンモデルも大幅改良を予定しており、北米、豪州・ニュージーランドなどへ2025年に投入を予定しています。



『アウトランダーPHEV』欧州仕様

『アウトランダーPHEV』は、三菱自動車の電動化技術と四輪制御技術の粋を集め、「威風堂堂」をコンセプトとしたフラッグシップモデルです。力強く存在感のある外觀デザインとPHEVシステムによる滑らかで力強い動力性能、ツインモーター4WDと四輪制御技術「S-AWC」からなる高い操縦安定性を高く評価いただいています。

今回はこれらのご好評いただいている部分を踏襲しながら、「洗練」と「上質」をテーマに大幅改良しました。電動車としての魅力を高めるため、駆動用バッテリーを刷新して欧州仕様では、EV航続距離を80km超（WLTPモード）とし、最高出力も約20%向上させて気持ちのよい加速性能を実現。また、S-AWC制御の最適化やサスペンションの改良とともに新タイヤを採用し、より上質で安定した乗り心地を実現しています。インテリアでは12.3インチに大型化したスマートフォン連携ナビゲーションや、コネクティッド機能の拡充、シートベンチレーション機能の採用などにより、利便性と快適性を向上させました。さらに、ヤマハ株式会社と共同開発し、音質へのこだわりを追求したオーディオシステムを搭載するなど機能装備を充実させました。

『アウトランダーPHEV』は、世界初の SUV タイプで 4WD の PHEV として 2013 年より日本で発売し、欧州、北米、豪州などに展開。「日常では EV、遠出はハイブリッド」というコンセプトのもと、電動車ならではの力強く滑らかで静かな走り、様々な天候や路面で安心・安全に運転を楽しめる電動 SUV として好評を博してきました。2021 年 12 月にフルモデルチェンジして 2 代目へと進化し、初代モデルと合わせこれまでに累計 37 万台以上を販売。SUV タイプで 4WD の PHEV として、世界 No.1 の販売台数^{*1}となっています。

*1…2024 年 9 月末現在、自社調べ

以上